

IT豆知識

身近になる電子マネー③
～非接触型ICカード～

今回は、交通系と流通系に分けて電子マネーをご紹介しましたが、これらはいずれも、「FeliCa（フェリカ）」というソニーが開発した非接触型ICカード技術方式を採用しています。

このICカードは、カードの中にICチップとアンテナが内蔵されており、カードを読取端末にかざすと、アンテナから発せられた電磁波を読取端末が受信して決済を行う仕組みになっています。つまり、カードと読取端末が直接触れないので、「非接触型ICカード」と呼ばれています。

日本国内における電子マネーは、このFeliCaを用いたものが支配的になっていますが、これまでは読取端末などに互換性がなく、これが普及のネックになっていました。しかし、現在は読取端末の共通化が始まっており、これにより、利用者と加盟店の利便性が格段に向上することが見込まれています。

ちなみに、「非接触型ICカード」に対して「接触型ICカード」と呼ばれるものもあります。従来の磁気ストライプのクレジットカードやキャッシュカードの表面に、金色のICチップが埋め込まれたカードを目にする機会が増えているのではないかと思います。

このICチップを搭載したカードが「接触型ICカード」です。カードを読取端末に差し込んで（カードが読取端末に触れる）使用するので、このように呼ばれています。

宮城県商工会連合会 嘱託専門指導員

志水 麻木

税のひとくち知識

定額法と定率法による減価償却(平成19年4月1日以後取得する場合)

(前号からの続き)

具体的な計算例

取得価額が100万円で、耐用年数が10年の減価償却資産についての償却費の計算は次のとおりです。

便宜上、1年間事業に使用していたと仮定して計算しています。

区分	定額法	定率法
耐用年数	10年	10年
償却率	0,100	0,25
改定償却率	—	0,334
保証率	—	0,04448
償却保証額	—	44,480円 (=1,000,000×0,04448)
1年目の償却費の額	100,000円 (=1,000,000×0,100)	250,000円 (=1,000,000×0,25)
2年目～7年目の償却費の額	100,000円 (=1,000,000×0,100)	(1,000,000－前年までの償却費の合計額)×0,25
8年目の償却費の額	100,000円 (=1,000,000×0,100)	44,584円 改定取得価額133,483円×0,334
		【計算上の注意点】 (1) 調整前償却額の計算 (1,000,000－前年までの償却費の合計額)×0,25 =33,371 (2) 調整前償却額33,371円が償却保証額44,480円に満たないので、改定取得価額(注)に改定償却率を乗じて償却費の額を計算します。 (注) 改定取得価額は(1,000,000－前年までの償却費の合計額)です。
9年目の償却費の額	100,000円 (=1,000,000×0,100)	44,584円 改定取得価額×0,334
10年目の償却費の額	99,999円 期首帳簿価額－1円 <1,000,000×0,100	44,584円 期首帳簿価額－1円<改定取得価額×0,334

詳しいことはお近くの商工会にお尋ね下さい。

宮城県商工会連合会 嘱託専門指導員 星 武夫

商工会員・ご家族・従業員の福利厚生プランのための
生命傷害共済（傷害総合保険＋病氣入院見舞金制度）・所得補償共済（所得補償保険）
建設総合補償共済

商工会福祉共済制度

※お問い合わせはもよりの 商工会へ
あるいは直接取扱い代理店 有限会社 みやぎふるさとサービスへ

TEL 022-216-2358